

平成 28 年度 経営発達支援事業評価委員会の開催報告

石岡商工会議所

当所では平成 28 年度に実施した経営発達支援事業につきまして、外部有識者を交えて経営発達支援事業評価委員会を下記の通り開催しましたので報告いたします。

記

(第 1 回)

1. 日 時 平成 28 年 12 月 5 日(月) 午後 2 時～午後 3 時 40 分
2. 場 所 石岡商工会議所 3 階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士 3 名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上 2 名
6. 内 容

事務局より「平成 28 年度 石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧」について、配布した関連資料を参照しながら全ての事業について説明を行った。以上の説明をもとに、委員から質問及び評価を受けた。委員からの質問、評価は次の通り。

【質問事項】

- ・各事業 PR の発信源は何か
(回答) ⇨毎月 1 回発行している当所会報、及びそれに折り込むチラシが主である。その他、当所 WEB サイトや新聞への記事掲載、巡回訪問、窓口相談による PR がある。
- ・高校生、ゴルファー、工業団地企業への訪問者など、石岡駅を利用する外部の人を呼び込む手段を私も考えている。まず石岡駅で地酒が買えないのを何とかしたい。
(回答) ⇨外部の人を呼び込む手段は当所でもイベント開催や行政・関係団体と連携した各種事業を実施している。例えば石岡はトレイルラン大会出場者などをターゲットに交流人口を増やしていきたいと考えている。
- ・巡回訪問はどのような形で行っているのか。
(回答) ⇨巡回訪問のパターンは二つあり、一つは会員の各種要請に応じて訪問するパターン。例えば融資を受けたい等の支援要請を受けての訪問。二つ目は特にアポを取らずに訪問するパターン。これは開催予定の講習会の案内や補助金制度の PR 等が主となる。
- ・持続化補助金対策セミナーを開催すると PR と申請がスムーズにできると聞いているが石岡は開催したのか。
(回答) ⇨前回の公募の際は実施した。今回の公募はタイミングが合わず開催出来なかった。

【評価】

- ・項目は良くまとめられている。最終ゴールに向かって進めてほしい。
- ・目標件数の達成が本当の目標ではないと思うので、次回の委員会では最終ゴールのイメージがわくように、支援の内容や成果について説明いただきたい。
(上記評価を受けての見直し) ⇨第 2 回委員会では支援の内容、成果について実績の数字を織り込みながら説明を行った。

(第 2 回)

1. 日 時 平成 29 年 2 月 6 日(月) 午後 2 時～午後 3 時 20 分
2. 場 所 石岡商工会議所 3 階小会議室
3. 出席委員 外部有識者として委嘱した中小企業診断士 3 名
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 専務理事、中小企業相談所長 以上 2 名
6. 内 容

事務局より「平成 28 年度 石岡商工会議所経営発達支援事業遂行状況一覧」について説明。次に、「平成 28 年度 石岡商工会議所が行った伴走型支援の流れ」をもとに、数字で見る今年度の実績に

について説明。次に、「平成 28 年度 石岡商工会議所経営発達支援事業における伴走型支援事例」、及びその事例で説明する 4 企業を紹介した当所会報記事「県知事承認！経営革新企業紹介」をもとに、代表的な支援事例について説明。以上の説明をもとに、委員から質問及び評価を受けた。各委員からの質問、評価は次の通り。

【質問事項】

- ・巡回訪問、窓口相談の内容について教えてほしい
(回答) ⇨内容は様々。例えば経営革新計画作成支援の場合は面談回数も多く、時間、内容も深いものとなる。また日頃の巡回訪問は開催予定の講習会の案内や税制改正の案内など各種施策の案内程度となり、時間、内容ともに上記と比べ浅いものとなる。
- ・巡回訪問の際の切り口は？
(回答) ⇨内容は様々。先に述べたように開催予定の講習会の案内や税制改正の案内など各種施策の案内、また「補助金制度の案内」などテーマを設定しキャンペーン的に実施する場合もある。
- ・支援事例を見ると「過剰支援」とも思える。事業者の自立を促すのも役目ではないか。
(回答) ⇨これがいわゆる伴走型支援と考えている。ただ経営発達支援事業以前から、同様の支援はしており、商工会議所の小規模事業者支援のあるべき姿と考えている。
- ・この事業の着地点は何か。
(回答) ⇨小規模事業者の経営を持続的に行うためのビジネスモデルの再構築を全面的に支援することが目的なので、着地はしないと考えている。ただ年度ごとに区切って見れば、経営革新計画認定申請、経営向上計画認定申請、持続化補助金申請、ものづくり補助金申請の件数が目に見える当所の成果であり、ひとつの着地点と考えても良いのではないかと。
- ・石岡産業観光 NAVI サイトは何が見られているのか。
(回答) ⇨このサイトは見学ができる工場、事業所が掲載されている。アクセス数の多い人気の企業は製罐会社である。
- ・商工会議所会報へのチラシ折込サービスは魅力的に感じる。もっと利用する事業者が多くてもよいのではと思う。評判はどうなのか。
(回答) ⇨実際に利用した事業者の評判は良い。大口受注に繋がった例もある。ただ新聞折込よりは安価だが、配布先が事業者のみで一般家庭には配布されないため利用者が限定される面はあると思われる。

【評価】

- ・4名の経営指導員でこれだけの事業を行っているのはすごい。会員をはじめとする事業者に対し、事業内容や成果をもっと積極的にPRしても良いのではないかと。例えば支援を受けた事業所の感想などを商工会議所会報に掲載すると効果的と思われる。また持続化補助金は商工会議所を通さないと申請できない制度なので、この制度をうまく使ってサービスを充実させてほしい。
(上記評価を受けての見直し) ⇨当所会報において、平成 28 年度経営発達支援事業の内容と成果についての記事を掲載しPRを行った。
- ・この事業が誰を対象にしているか、最終目標が何であるのか良くわかった。地域の活性化について、外から来る人向けの施策を進めてほしい。例えば石岡駅で地酒が買えれば、活性化に繋がると思われる。職員のスキルアップはこのまま続けてほしい。会員をはじめとする事業者に向けて、事業内容や成果をPRすることにより信頼が得られると思われるので是非進めてほしい。会報の記事で商工会議所の活動内容を紹介すると良い。
(上記評価を受けての見直し) ⇨当所会報において、平成 28 年度経営発達支援事業の内容と成果についての記事を掲載しPRを行った。
- ・4つの支援事例を説明頂いたが、すべて経営課題は売上の伸び悩みである。計画書には売上の目標値を設定したと思われるので、支援の効果を判断する材料に売上の伸びも入れたほうが良い。また支援を受けた4社の感想も記載すると良い。
(上記評価を受けての見直し) ⇨平成 29 年度の評価委員会では支援した企業の売上状況、支援を受けた感想もヒアリングし評価を受けることとする。

以上